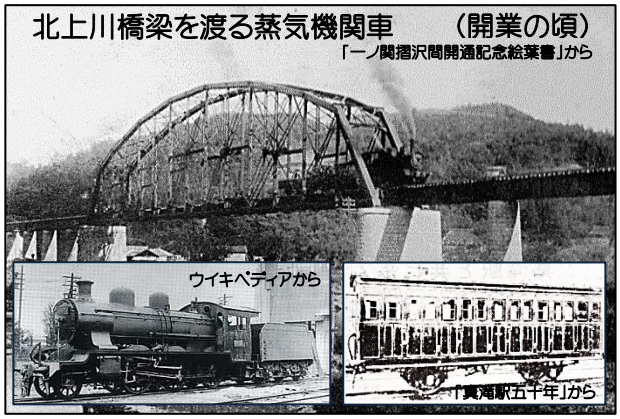
第 91 号 令和 5 年 10 月 1 日
滝沢地域振興協議会 生活福祉部会

滝ちゃんのかわら版

真滝駅 100 年の歴史“滝ちゃんのかわら版”で振り返ります！

1925(大正 14)年 7 月 26 日 開業　―滝沢地域振興協議会・生活福祉部会―

「皆さまのお宅に眠る真滝駅関係資料の収集にご協力をお願いします。」



下記は収集資料の態様（真滝駅に関連したもの）例示

写真…真滝駅構内写真、駅舎内写真、ホーム停車中の写真（特に蒸気機関車がない）、人々でにぎわっている写真（送別・歓迎）、鉄道官舎、駅前広場盆踊り大会。
新聞記事…真滝駅に関して掲載している記事。
絵葉書…開業の頃の絵葉書があるようです。
時刻表…何時の時代でも結構です。
切符…乗車券、入場券、定期券（真滝駅発行、また真滝駅の字入りのもの）。
真滝駅関連記念誌…50年記念誌、大船渡線 90 年誌（市博物館発行）など。

真滝駅は大船渡線へ最初に設置された駅の一つで、令和7(2025)年7月26日に100周年を迎えます。かっては悲喜こもごも様々な感情が交錯し、賑わいのある駅でしたが、年々利用者が減少しています。昨年8月、JR 東日本は大船渡線を厳しい経営路線の一つにあげ、私たちの前に路線存続問題を突きつけました。大船渡線そして地域の象徴ともいえる真滝駅を考えるよい機会ととらえ「滝ちゃんのかわら版」で継続的に取り上げていきます。

100年の記憶、思い出を込めた写真・品など真滝駅を取り巻く資料、新旧どんなものでも、情報でも結構です、お貸しまたはご提供いただけないでしょうか。滝沢市民センターへご連絡をお願いします。場合によって生活福祉部会員など関係者が訪問いたします。お寄せの資料等は本誌で掲載し、できるだけ紹介します。収集状況によっては展示会の開催などの検討もしたいと思います。

「地域協働」と「公共交通」を考える

住民懇談会　－ 一関市 －　8.24

市（まちづくり推進課長他3人出席）との住民懇談会ですが、いわゆる一般住民の姿が見られず、滝振協関係者15人との懇談でした。関心のある滝沢市民センター移転建て替え要望については、市担当者の出席がなく、やや盛り上がり欠く会でした。

秋の夜長

今年の夏は記録的な暑さでした。それだけ秋を待ちわびた人も多かったのではないでしょうか。私も一人です。秋の夜長は主に9月～10月を指しますが、季節の変わり目の急な温度変化で不調を感じやすくなります。負けないように秋の夜長を映画や読書を楽しんで有意義に過ごすことで、心身を癒しストレスを発散しようと家内と話しています。（T.C）

みんなで担ごう！ 魅力の滝沢 !!

第 91 号　令和 5 年 10 月 1 日
滝沢地域振興協議会 生活福祉部会

滝ちゃんのかわら版

コロナ禍、一段落 … 各区で夏祭りを楽しむ！

7区/8.13
「2023 夏祭り」に名を変えて4年ぶりの開催。徳声会の歌や演奏、有志による踊り、みんなで盆踊りも楽しみました。

8区/7.9
「ふれあいまつり」を開催。参加者は27名。シャッフルボード、モルック、輪投げに汗を流した後、懇親会で親睦を深めました。

10区/8.15
10 区公民館で 18 時30分から「盆踊り大会」として 3 年ぶりの開催。PTA では夜店を担当するなど、約180人が参加し、楽しく盛況のうちに終了しました。

9区/8.14
「盆踊り会」を4年ぶり復活開催。前日総出で会場町田グランドを草刈り、整備作業。当日、PTA企画夜店や総踊りの後、豪華賞品抽選会、そして最後に打ち上げ花火がフィナーレを飾りました。

滝沢地区民区対抗球技大会 野球・7区優勝！ 8.27

滝沢小学校グランドで第12回滝沢地区民区対抗球技大会（男子野球のみ）4年ぶり開催されました。

参加は2チーム、7区と8区で争われ、7区が勝利しました。

11区/8.12
雨模様の中、「世代間交流会」として親子を中心に34名が参加、ボッチャなどゲームや花火の打ち上げを楽しんだ。交流会に先立ち消火訓練を開催した。

水口区/8.12
「夏まつり大復活祭」として4年ぶり、台風の影響で急遽東中体育館に場所を移しての開催。見どころは民謡・日本一の佐藤信子さん（東山在住）と水口在住の尺八名手の千葉恭義さんによる民謡ショー。

久しぶり 通帳記帳 目が点に 我にも起きた 不正引き出し　米倉幹雄

米倉さん、大変なご災難でしたね！カード会社で不正が確認できなかった、知らず間に情報が盗られていた、恥を忍んで短歌に詠みました、皆さんも注意してください、とのことです。

7.3 真滝中卒業同級会、各地から17人参加 !!

真滝中学を昭和 35 年 3 月に卒業した第 13 回生の同級会が“いつくし園”で開かれました。

遠く愛知県から駆けつけた人もいて、楽しい一時、旧交を温めました。傘寿の祝いに再開を誓いました。

訂正
前号90号裏面記事「忘れず一升餅を」中の菅原正治さんは菅原昭治さんでした。訂正お詫びします。